

ろう通訳シンポジウムのご案内（鹿児島会場）

1960年代以前、ろう者が通訳を担っていた時期がありました。しかし、いまでは、手話通訳は聴者がするものと思われています。ところが、世界に目を向けると、通訳資格をもつろう者（CDI）が聴の手話通訳者（フィーダー）と連携して通訳する場を広げています。わが国でも、ようやく「ろう通訳」の必要性が認識され、昨年度は、東京、大阪、名古屋の3カ所でろう通訳シンポジウムを開催し、今年度から「ろう通訳者養成講座」を開講しました。しかし、大学のように体系だった養成の場はなく、公的な資格制度也没有。今回、みんなで「ろう通訳」の必要性について考えてみませんか。

*音声日本語への通訳がつきます。

日時：2016年1月30日（土）13:00-17:00（受付12:00～）*昼食をすませてからお越しください

会場：鹿児島県産業会館（アクセス・地図は裏面をご参照ください）

会費：1,500円（一般）

*事前申込は不要です。当日、会場に直接お越しください。

*NPO法人手話教師センター会員、同サポーター、学生の方は1,000円です。会員証・サポーター証・学生証等を提示してください。

*協力団体（特定非営利活動法人NPOデフNet.かごしま）の方も1,000円です。詳細についてはデフNet.かごしまにお問い合わせください。（裏面参照）

定員：300名

基調講演

「ろう通訳者の将来を考える」

小野広祐

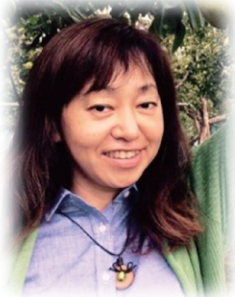
学校法人明晴学園 教頭
NHK手話ニュースキャスター



「海外のろう通訳者を見て思ったこと
／日本に提言・期待したいこと」

相良啓子

国立民族学博物館 プロジェクト研究員



「CITやWASLI等に見るろう通訳者
とフィーダーについて」

前川和美

関西学院大学 非常勤講師



「ろう通訳訓練生を
通して考えたこと」

馬場博史
関西学院大学
非常勤講師



「non-Deaf interpreter（聴の手話通
訳者）の立場から」

飯泉菜穂子

世田谷福祉専門学校手話通訳学科 学科長
手話通訳士
元NHK手話ニュースキャスター



*CDI: Certified Deaf Interpreter ; 通訳資格のあるろう通訳者（ろう通訳士）

*CIT: Conference of Interpreter Trainers ; 手話通訳養成者会議（米国）

*WASLI: World Association of Sign Language Interpreter ; 世界手話通訳者協会

鹿児島県産業会館へのアクセス

- 市電ご利用の方は、「朝日通り」電停から海側方向（ドルフィンポート）へ徒歩5分程度です。
- バスご利用の方は、「山形屋バスセンター」、「金生町」、「市役所前」などバス停から海側方向（ドルフィンポート）へ徒歩5分程度です。



powered by egmap.jp

鹿児島県産業会館

〒892-0821

鹿児島市名山町9-1

アクセスについて

■「鹿児島中央駅前」駅から鹿児島市電2系統(鹿児島駅前行)に乗車、「朝日通り」下車、徒歩5分

■九州新幹線
「鹿児島中央駅」下車後、市電をご利用ください。

■駐車場はありませんので、必要な場合は近くの有料駐車場をご利用ください。



■参加費に関する問い合わせ

デフNet.かごしま関係者の参加費は1,000円になります。
詳細については、下記までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 NPOデフNet.かごしま
メール mail@deaf-net.org
Tel: 099-225-0615 (月～金 午前9時～午後4時)
Fax: 099-201-3192 (24時間受付OK)

■ろう通訳シンポジウム全般に関する問い合わせ

特定非営利活動法人手話教師センター
メール haken@jsltc.org
Fax: 03-4579-0518

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION